

県庁舎跡地整備に向けたマーケットサウンディング 全体説明会 参考資料

1. 旧第三別館の検討状況
(免振、鉄骨ブレース、ファサード保存の各検討図面)
2. 旧県庁舎の鐘について
(その他提案していただきたいもの)

§ 1-2 建物概要

施設名称 旧第三別館 (長崎警察署として建設され、昭和 43 年に警察署が移転し、県庁舎別館として使用された。)

所在地 長崎県長崎市江戸町 2-1

建設年 1923 年 (経過年数 100 年)

構造 レンガ造+鉄筋コンクリート造(一部 3 階木造)

基礎 不明(第二種地盤を想定)

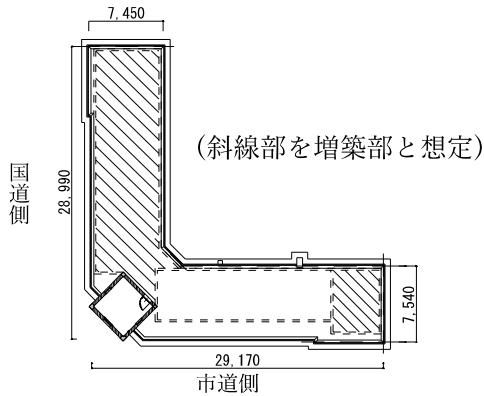
規模 地上 3 階建 地下 1 階
 各階床面積 2 階 : 364 m²
 1 階 : 364 m²
 地下 1 階 : 364 m²
 延床面積 : 1092 m² (※3 階の木造部分 315 m²を除く)
 建築面積 : 364 m²

増築改修等の状況

有 3 階木造部分

- ・国道側
- ・市道側 (一部)

※建設年度等の詳細は不明



建築当時の図面の有無

無

改修履歴の記録の有無

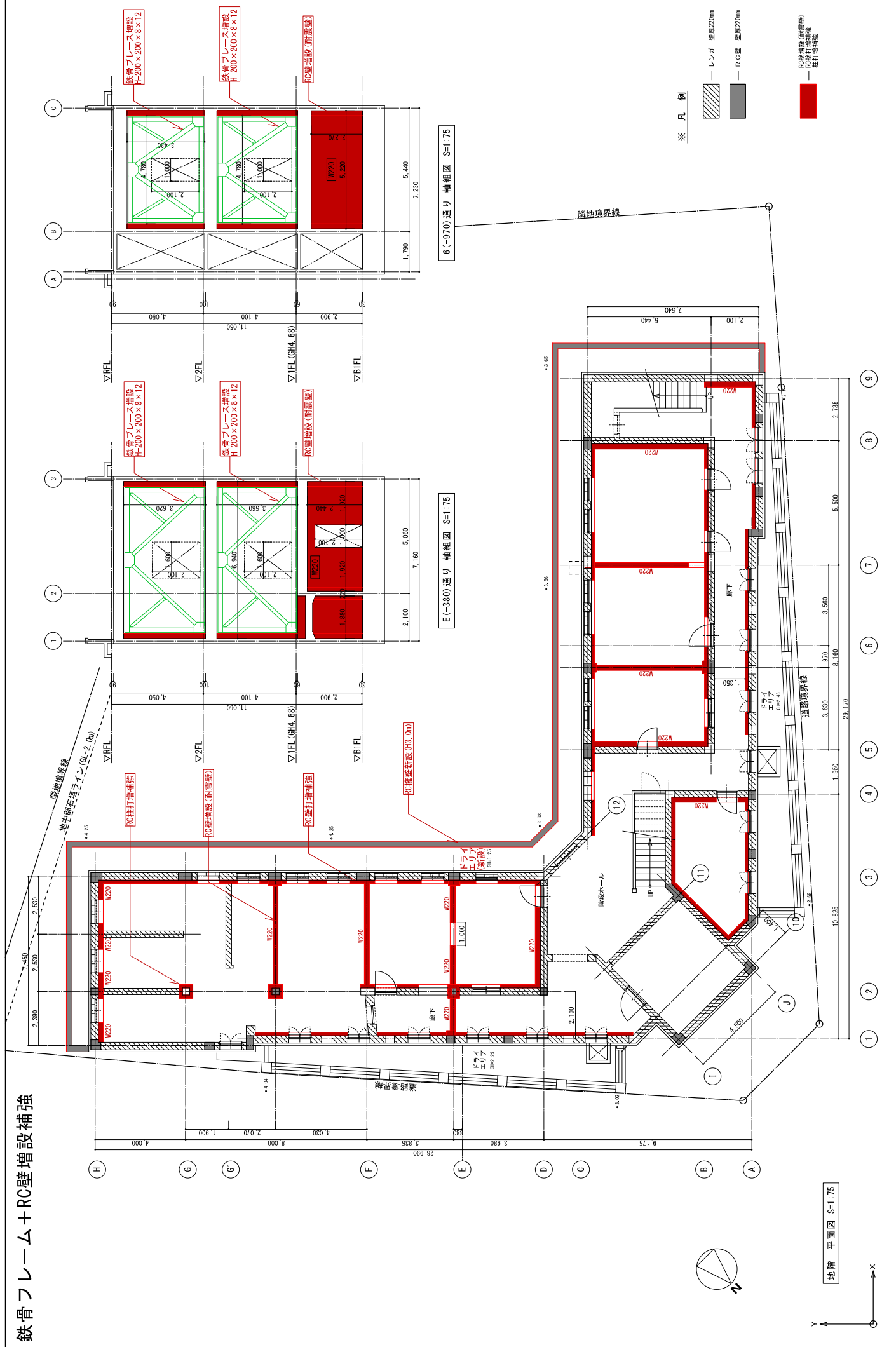
無

※3 階木造部分は建物概要から除外する。



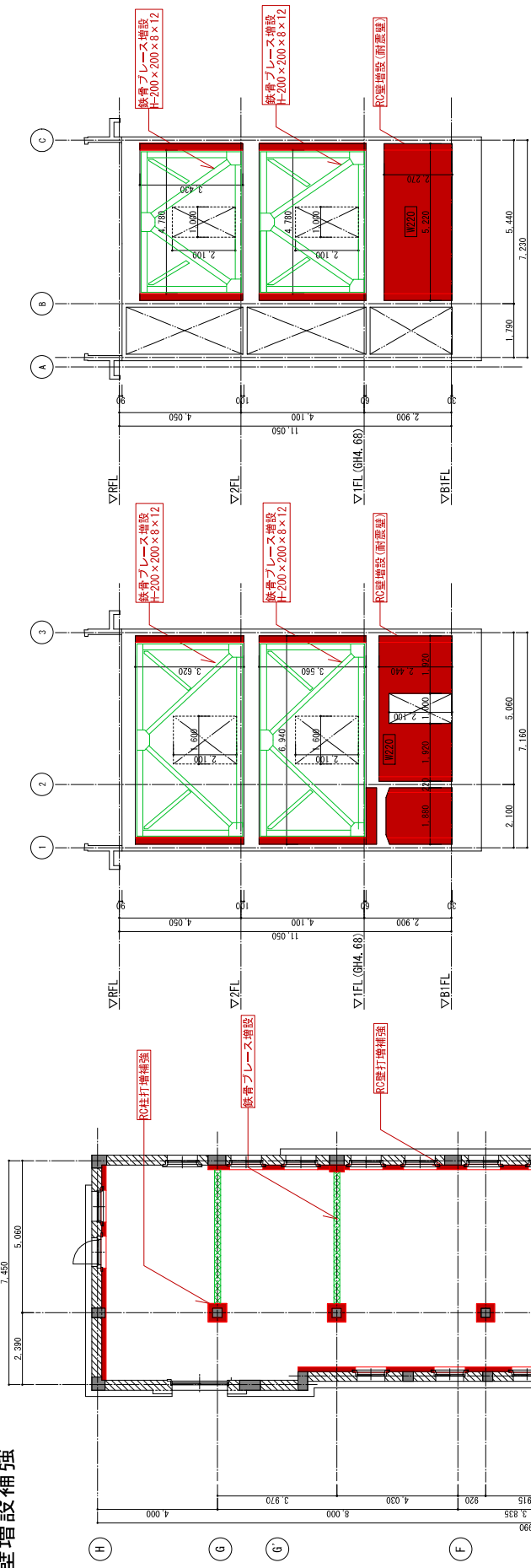
竣工頃の長崎警察署(個人蔵)

鉄骨フレーム+RC壁増設補強



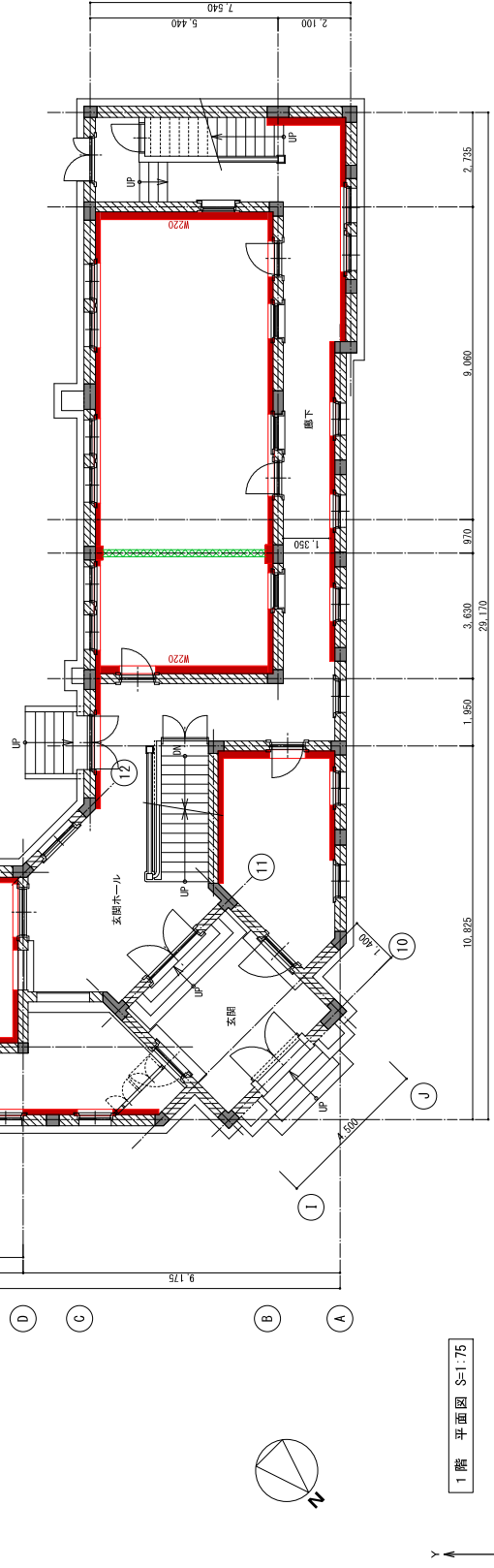
記	1	2	3	4	5	6	7	8	9
号									
種	設計書	工事名称	旧第三別館の耐震改修における耐震等梁増設補強	作業年月日	RC	3	号	(20) - 10708	号
		原名称	地階 平面図 (補強計画案-鉄骨フレーム+RC壁増設補強)	編R	A1=1:75		脚高	脚川 好高	
		図号	H-05	編R	A2=1:150		1級建築士 大庭 敏雄 第 154117 号	1級建築士 事務 所 事務所 知事登録 第 (20) - 10708 号	
							〒 852-8134 長崎市大橋町 2-14 アクワイー・ワン 4-A	TEL (095)840-0772	

鉄骨フレーム+RC壁増設補強

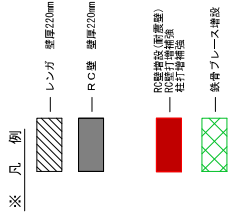


E(-380)通り 軸組図 S=1:75

6(-970)通り 軸組図 S=1:75

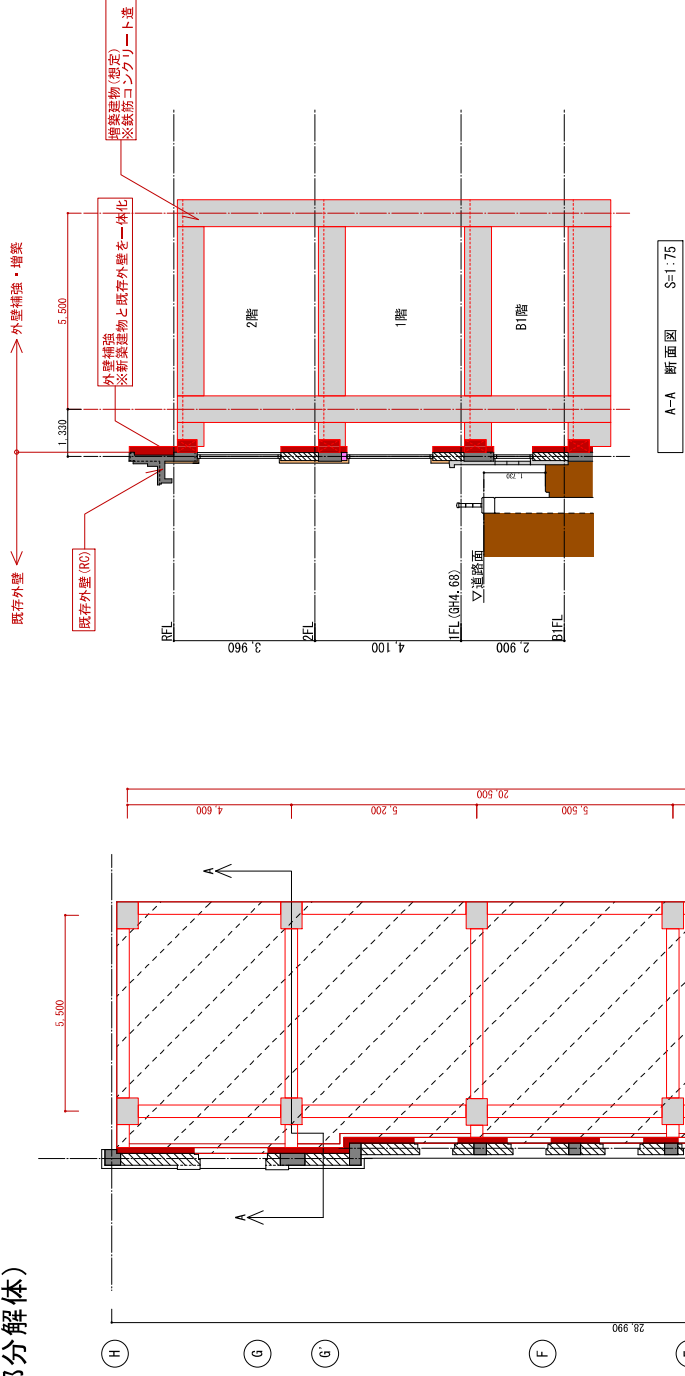


1階 平面図 S=1:75



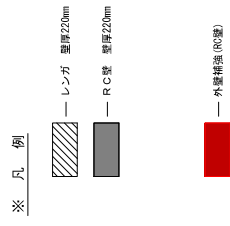
設計番号	工事名称	旧第三期館の新築改修における断熱等性能業務委託
図番	図名	1階 平面図 (補強計画案-鉄骨フレーム+RC壁増設補強)
図号	原案名称	旧第三期館の新築改修における断熱等性能業務委託
H-06	原案番号	原案番号
	原案名称	1級建築士事務所 事務所知事登録 第(20)-10708号 柳川 好高
	原案番号	1級建築士 大臣登録 第16417号
	原案名称	〒852-8134 長崎市大橋町 22-14 アクアライオン・ワン 4-A TEL (095)840-0772
	原案番号	原案番号
	原案名称	原案名称
	原案番号	原案番号

ファサード保存(部分解体)



■新築建物(鉄筋コンクリート造) 想定床面積

建築面積	: 342㎡ (103.5坪)
名階床面積 (B1~2F)	: 342㎡ (103.5坪)
延床面積	: 1026㎡ (310.5坪)



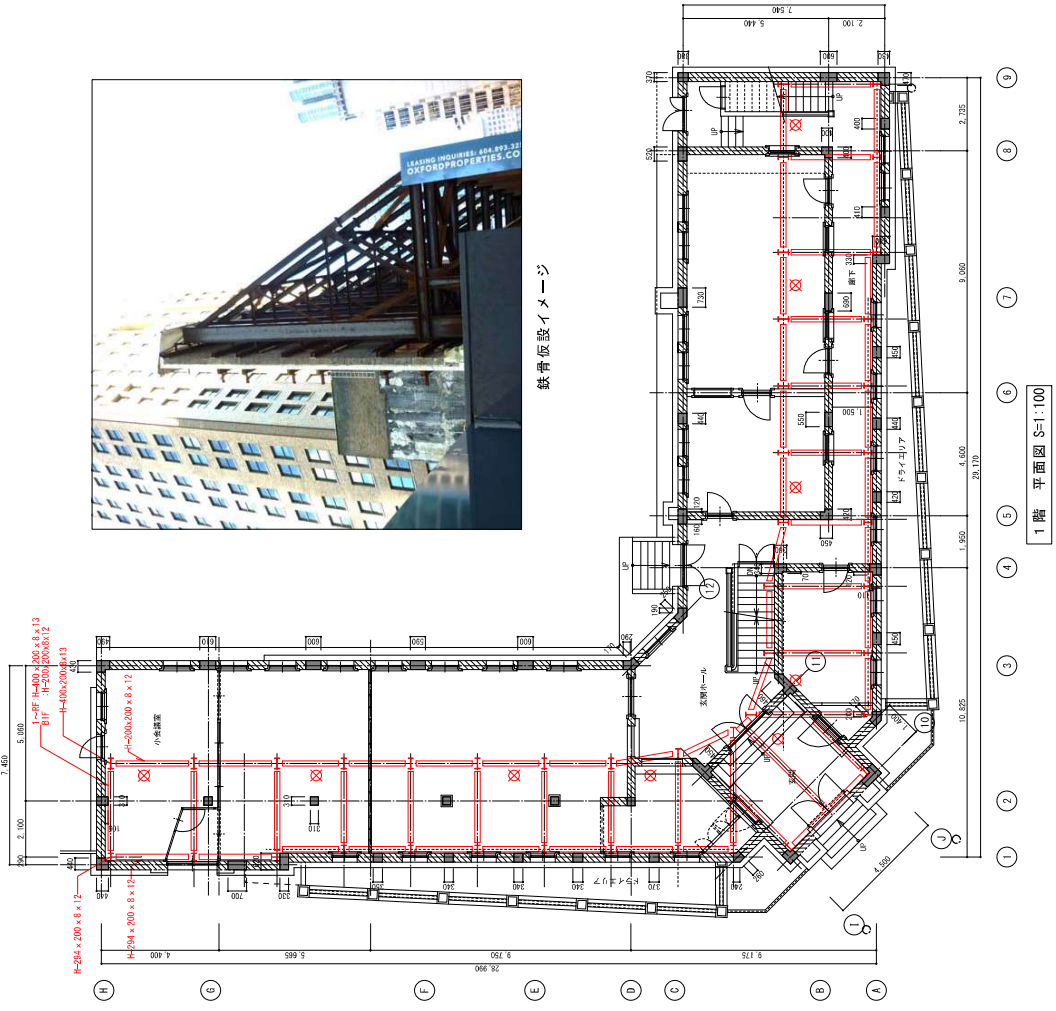
A-A 断面図 S=1:75

1階 平面図 S=1:75

図 号	図 名	図 尺	作成年月日	作成者	承認者	工事名称	図 号
1	1階 平面図	A2=1:150	2017.05	RG	3	旧第三期前の耐震改修における原設計等整理業務委託	H-009
2	2階 平面図	A2=1:150				旧第三期前の耐震改修における原設計等整理業務委託	H-009
3	3階 平面図	A2=1:150				旧第三期前の耐震改修における原設計等整理業務委託	H-009
4	4階 平面図	A2=1:150				旧第三期前の耐震改修における原設計等整理業務委託	H-009
5	5階 平面図	A2=1:150				旧第三期前の耐震改修における原設計等整理業務委託	H-009
6	6階 平面図	A2=1:150				旧第三期前の耐震改修における原設計等整理業務委託	H-009
7	7階 平面図	A2=1:150				旧第三期前の耐震改修における原設計等整理業務委託	H-009
8	8階 平面図	A2=1:150				旧第三期前の耐震改修における原設計等整理業務委託	H-009
9	9階 平面図	A2=1:150				旧第三期前の耐震改修における原設計等整理業務委託	H-009
10	10階 平面図	A2=1:150				旧第三期前の耐震改修における原設計等整理業務委託	H-009

(仮設計画案)

- 外壁のみを保存する場合、建物の奥行きが7.0mと短スパンであり、レンガ造の壁式構造であることから、外壁を自立させることは構造的に困難である。よって新築建物と一体化するまでの期間、鉄骨による仮設補強材が必要と想定される。
- 過去事例においても、ファサード保存の場合は、仮設補強を採用している例が多くみられた。
- 仮設材を省略する為に、仮設補強材を本設とする方法は、可能性の一つとして考えられるが、外壁が自立しない構造の場合、新築建物の躯体施工後に部分解体を実施する必要があり、解体方法、新築の施工性等、実用性も含めた実施設計レベルでの慎重な検討が必要と特殊な工法と考えられ、今回は想定していない。
- よって今回はファサード保存における最も一般的に想定される方法として鉄骨の仮設補強案を検討した。



設計番号	旧第三期館の新築改修における課題等整理業務委託
図番	仮設計画案(ファサード保存)
作業科目	作業科目
RG	3
編入	A1=1:30 1:100 A2=1:60 1:200
1級建築士事務所 垂範的建築設計 第(20)-10788号 1級建築士 大庭敏雄 第15417号 柳川 好高	1級建築士事務所 垂範的建築設計 第(20)-10788号 1級建築士 大庭敏雄 第15417号 柳川 好高
〒852-8134 長崎市大橋町2-14 アカティニー・フーン 4-A	TEL (095)840-1572
設計者	有限会社 堅設計事務所
〒852-8134 長崎市大橋町2-14 アカティニー・フーン 4-A	TEL (095)840-1572

2. その他提案をいただきたい内容 旧県庁舎の鐘の活用

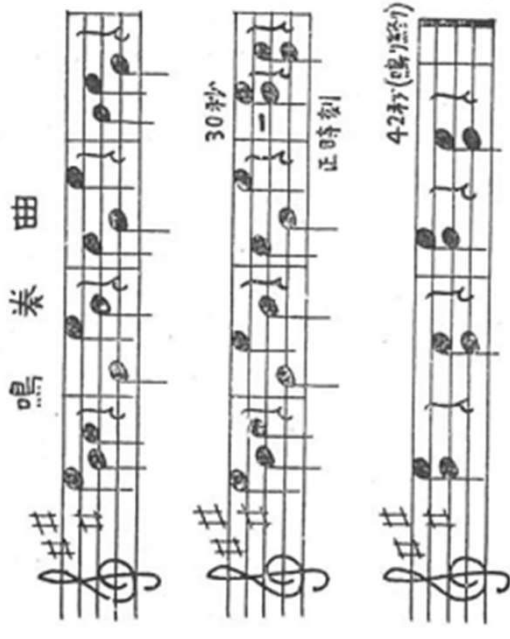


旧県庁舎の時計塔に設置されていた鐘



撤去された鐘

鐘の番号	重さ	直径(開口縁辺)	高さ
1	600kg	920mm	750mm
2	350kg	760mm	680mm
3	240kg	665mm	520mm
4	220kg	620mm	400mm



4代目県庁舎の象徴として時計塔に設置されていたもの。
当初は1日5回（5時、8時半、12時、17時、20時）自動打鐘装置により鳴動していた。

製造年：昭和27年